

いわた羅針盤

ら しん ばん

No.91

令和5年5月臨時会



令和5年度の議会が 新体制でスタートしました

CONTENTS

- P 2 正副議長、監査委員紹介
- P 3 各委員会紹介
- P 5 各種委員名簿、会派名簿
- P 6 議案審議
- P 7 インフォメーション
- P 8 審議結果 他

議長に鈴木喜文議員、

副議長に岡實議員を選出



議長 **鈴木喜文**
市議5期 66歳
会派 公明党磐田 住所 中泉



副議長 **岡實**
市議5期 75歳
会派 志政会 住所 豊岡

議長のあいさつ

コロナ後の新しい市議会活動開始
積極的な調査研究と
提案提言する市議会を目指して

議長 鈴木喜文
平素より磐田市議会に対し格別のご理解とご協力を賜り、衷心より御礼申し上げます。また、6月の台風第2号に伴う豪雨で被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。正副議長はじめ常任委員会正副委員長など新たな体制での劈頭にあたりご挨拶申し上げます。

4年近くのコロナ禍にあっても磐田市議会は停滞することなく、度重なる被災状況にも対応した議会活動を続けてまいりました。現在、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け、これから市議会はコロナ前に戻るのではなく新しい時代の市議会を築き上げてまいります。

これまでの規制が続いていた調査研究も積極的に行い、現場にも足を運び、市民生活の向上と安心安全な社会構築のため、市内各地に居住する市議会議員が、様々な地域の様々な職種や立場の皆様の声に耳を傾け、提案提言を積極的に行う市議会を目指してまいります。市民の皆様におかれましては、従前と変わらぬご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

監査委員



芥川 栄人 議員

監査委員とは

監査委員は、地方自治法に基づき、市長が行政運営に関し優れた識見を有する者及び議員のうちから、議会の同意を得て選任します。磐田市では、識見を有する者2名、議員1名の計3名が選任されています。



監査の様子

議会運営委員会・常任委員会・特別委員会を紹介します

議会運営委員会

所管

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項及び議長の諮問に関する事項

- (後列) 秋山勝則 鈴木正人 鳥居節夫 小栗宏之 鈴木弥栄子
- (前列) 松野正比呂 江塚 学 小池和広 根津康広



総務委員会

所管

総務部、企画部、自治市民部、消防本部、危機管理課、会計課、監査委員、選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会及び公平委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項

- (後列) 平田直巳 江塚 学 芥川栄人 小栗宏之
- (前列) 高梨俊弘 小柳貴臣 秋山勝則 岡 實



民生教育委員会

所管

健康福祉部、こども部、教育委員会及び市立総合病院の所管に属する事項

- (後列) 本間昭男 永田隆幸 芦川和美 山下千賀子
- (前列) 松野正比呂 鈴木正人 鳥居節夫 根津康広



建設産業委員会

所管

経済産業部、建設部、環境水道部、農業委員会の所管に属する事項

- (後列) 加藤公人 鈴木弥栄子 小池和広 柏木 健
- (前列) 加藤文重 八木義弘 戸塚邦彦 寺田幹根



◎委員長 ○副委員長

各種委員名簿

組合議会議員

○中遠広域事務組合議会議員

江塚 学 小池 和広 戸塚 邦彦
永田 隆幸 松野正比呂 鈴木 喜文
高梨 俊弘

○中東遠看護専門学校組合議会議員

小栗 宏之 鳥居 節夫 鈴木 喜文

各種委員・役員（議員選出）

○磐田市公務災害補償等認定委員会委員

柏木 健

○磐田市交通安全対策委員会委員

小柳 貴臣

○磐田市青少年問題協議会委員

加藤 公人 芦川 和美

○磐田市地域公共交通会議委員

鈴木 喜文

○ジュピロ磐田ホームタウン推進協議会顧問

鈴木 喜文

○磐田市文化振興委員会委員

高梨 俊弘

○磐田市民生委員推薦会委員

永田 隆幸 根津 康広

○磐田市農業振興地域整備促進協議会委員

山下千賀子 小池 和広

○磐田市林業振興協議会委員

八木 義弘 加藤 文重

○磐田市豊岡地区一雲済川改修促進協議会委員

山下千賀子 秋山 勝則 鈴木 正人

○遠州灘沿岸保全対策促進期成同盟会委員

加藤 公人 鈴木 喜文

○県道袋井大須賀線外二線整備促進期成同盟会委員

鈴木 喜文

○天竜川治水促進期成同盟会副会長

岡 實

○天竜川治水促進期成同盟会監事

芥川 栄人

○天竜川治水促進期成同盟会理事

柏木 健 平田 直巳 鳥居 節夫

○二級河川太田川水系蟹田川整備促進協議会顧問

鈴木 弥栄子

○磐田市地区計画審議会委員

本間 昭男

○磐田市特別業務地区建築審議会委員

芦川 和美

○磐田市都市計画審議会委員

本間 昭男 平田 直巳 小池 和広

○磐田市廃棄物減量化等推進審議会委員

加藤 文重 根津 康広

○磐田市立学校給食運営委員会委員

鈴木 弥栄子

○磐田市立小・中学校通学区域審議会委員

小柳 貴臣

○磐田市立小・中学校通学区域審議会委員

小栗 宏之 永田 隆幸

○磐田市立図書館協議会委員

松野正比呂

○磐田市旧見付学校協議会委員

八木 義弘

○磐田市遠江国分寺跡整備委員会委員

鈴木 正人 鳥居 節夫

○磐田市消防賞じゅつ金審査委員会委員

秋山 勝則

○中東遠地域消防指令業務共同運用推進協議会委員

鈴木 喜文

○中遠広域事務組合公務災害補償等認定委員会委員

秋山 勝則

○社会福祉法人磐田市社会福祉協議会評議員

江塚 学



©磐田市



委員は議長を除く全議員

- 根津康広
- 松野正比呂

所管
一般会計、特別会計及び企業会計の予算及び決算に関する事項

予算決算委員会



- (後列) 八木義弘 芥川栄人
- 江塚学 ○平田直巳
- 山下千賀子 ○永田隆幸
- 高梨俊弘

所管
議会の広報及び広聴に関する事項

広報広聴委員会



- (後列) 加藤公人 鳥居節夫
- 秋山勝則 ○小池和広
- 戸塚邦彦 ○松野正比呂
- 江塚学 根津康広
- 山下千賀子

目的
公共施設等のマネジメントに関する調査研究を行い、政策提言すること

磐田市公共施設等マネジメント検討特別委員会



- (後列) 平田直巳 永田隆幸
- 小栗宏之 ○秋山勝則
- 江塚学 ○加藤文重
- 八木義弘 高梨俊弘
- 鈴木弥栄子

目的
市民が、生涯住み慣れた地域で安心して、医療や介護にできるだけ頼らない日常生活が送れるよう、条例の素案検討を行い、議案を提出すること

「(仮称)健康づくり及び地域医療条例」検討特別委員会

会派名簿

(令和5年5月25日現在) (○代表者)

志政会

○秋山勝則 八木義弘 小池和広
鳥居節夫 小柳貴臣 永田隆幸
芦川和美 寺田幹根 岡 實

せいわ会

○戸塚邦彦 加藤公人 本間昭男
平田直巳 小栗宏之 鈴木正人

新磐田

○加藤文重 芥川栄人

松野正比呂

日本共産党磐田市議団

○高梨俊弘 根津康広

公明党磐田

○江塚 学 鈴木喜文

市民と創る磐田

○鈴木弥栄子 山下千賀子

磐田の底力

○柏木 健

虫生時彦議員逝去

虫生時彦議員(市民と創る磐田)は、去る5月6日、逝去されました。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

4年度の政務活動費収入・支出状況についてお知らせします

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に役立てるために必要な経費の一部として、議会の会派からの申請により交付されるもので、地方自治法に基づき条例で定めています。議員の政策立案能力向上や、議会の監視機能の強化を図るための活動などに活用されています。

本市の政務活動費は1人当たり年額30万円で、上半期と下半期の2回にわけて会派に交付されます。4年度の会派別収入・支出状況は下表のとおりで、残余金は市へ返納しました。

(単位：円)

会派名	志政会	せいわ会	新磐田	市民と創る磐田	日本共産党磐田市議団	公明党磐田	磐田の底力	合計	
交付対象人数	9人	6人	3人	3人	2人	2人	1人	26人	
収入	交付金	1,350,000	900,000	450,000	450,000	300,000	300,000	150,000	3,900,000
	上期	1,350,000	900,000	450,000	450,000	300,000	300,000	150,000	3,900,000
	下期	1,350,000	900,000	450,000	450,000	300,000	300,000	150,000	3,900,000
	雑収入	13	9	5	4	1	2	1	35
計	2,700,013	1,800,009	900,005	900,004	600,001	600,002	300,001	7,800,035	
支出	研究研修費	0	0	0	20,000	0	0	0	20,000
	調査旅費	0	0	0	5,260	0	0	0	5,260
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0
	図書・資料費	60,060	0	0	1,000	0	97,680	14,300	173,040
	広報費	1,052,288	481,920	347,215	0	456,126	0	0	2,337,549
	広聴費	0	0	1,050	45,076	0	0	0	46,126
	事務費	307,278	96,396	64,358	74,477	60,693	102,521	57,600	763,323
	要請・陳情活動費	16,380	0	0	0	0	0	0	16,380
計	1,436,006	578,316	412,623	145,813	516,819	200,201	71,900	3,361,678	
残余金	1,264,007	1,221,693	487,382	754,191	83,182	399,801	228,101	4,438,357	

4年度行政視察受入状況

4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染状況を踏まえて行政視察の受入れを行いました。

	受入日	自治体名	視察内容	備考
1	令和4年8月10日	静岡県掛川市	ながふじ学府の学校再編について	
2	8月22日	静岡県袋井市	副議長の任期について	
3	10月27日	静岡県菊川市	見付美登里区画整理事業について	
4	令和5年1月17日	東京都東久留米市	市議会に導入されたタブレットについて	オンライン形式



令和5年
5月
臨時会

議案審議

会期 5月18日～5月25日(8日間)

5月臨時会の模様は、インターネットで録画配信しています。

磐田市議会 配信 検索



一般会計補正予算(第1号)などを審議

5月臨時会では、市長提出の5年度一般会計補正予算の一般議案1件、人事議案5件を審議しました。なお、すべての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

議案
第37号

5年度一般会計補正予算(第1号)

全会一致で
可決

この補正予算は、歳入歳出予算の追加であり、歳入歳出予算それぞれに6億3533万2千円を追加し、総額を707億4533万2千円とするものです。

補正予算の主な内容

●住民税非課税世帯等に対する電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の支給に要する経費の増額
●子育て世帯に対する生活支援特別給付金の支給に要する経費の増額

本会議での主な質疑

問 住民税非課税世帯と同様の事情にある世帯とは。

答 減少した月の収入を年換算、12倍したときに、非課税世帯と同等の状況の方のことである。

問 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の支給対象のうち家計急変世帯の世帯数の根拠は。

答 4年度に実施した同様の給付金での世帯数から算出した。

問 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業の関連事務の内訳は。

答 事務処理業務委託と電算システム構築等業務委託、それからコールセンター業務委託が主である。

問 子育て世帯に対する生活支援特別給付金の支給対象における家計急変世帯等とは。

答 ひとり親世帯であれば公的年金等の受給者は児童扶養手当の対象にはなっていないが、同等レベルの水準または下回る方については給付したいということで、例えば遺族年金や障害年金、老齢年金等の年金受給者の方等と捉えている。



市議会議員

4年ごとの選挙によって市民から選ばれた「市民の代表者」。本市議会議員の定数は条例で26人としています。

議長・副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。

議長は議会の代表者として、議場の秩序を保ち、議事を整理し、議会の事務を処理します。

副議長は、議長が不在のときや欠けたときに、議長の代わりに職務を行います。



議会
豆知識



審議結果

■全会一致により可決・承認・同意された議案

- (1) 5年度一般会計補正予算（第1号）
- (2) 磐田市外1組合公平委員会の委員選任の同意
- (3) ～(5)固定資産評価審査委員会の委員選任の同意
- (6) 監査委員選任の同意

■本会議で行われた選挙

- (1) 市議会議長の選挙
- (2) 市議会副議長の選挙
- (3) 中遠広域事務組合議会議員の補欠選挙
- (4) 中東遠看護専門学校組合議会議員の補欠選挙

■その他本会議で議題になった案件

- (1) 市議会議長の辞職
- (2) 市議会副議長の辞職
- (3) 市議会常任委員会委員の選任
- (4) 市議会議長の民生教育委員会委員の辞任
- (5) 市議会運営委員会委員の選任
- (6) 市議会議員の派遣

スマートフォン等からも 議会を視聴できます

パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末からも、本会議、予算決算委員会の模様を視聴することができます。生中継・録画中継を配信しておりますのでぜひご覧ください。



声の議会だよりをご利用ください

視覚障害のある方のため、声による議会だよりを制作しています。CD版をご希望の方は議会事務局までご連絡ください。また、市議会ホームページでも公開していますので、ご利用ください



表紙の写真

静岡県立磐田農業高等学校 3年生

写真部 かわさき まお 川崎 真央 さん

この写真は4年9月に実施された体育大会での様子です。私たちが1年生のときにはコロナの影響もあり体育大会が実施されませんでした。高校に入学してから初めての体育大会。マスクをしたり、対面にならないように競技の種目を工夫するなどの制限はありましたが、クラスのみならず一緒になって楽しみ、いい思い出になりました。

議会にご意見をお寄せください

市民の皆様の声をお聞きするため、「ご意見ポスト」を本庁舎1階と5階に設置しています。市議会へのご意見・ご要望をお寄せください。



左のコードを読み込み、ご意見を入力できます。



3年間のコロナ禍によって、制約されていた活動や人と人とのコミュニケーションが戻り始めています。このような時代に向かい、広報広聴委員会では、市民に興味・関心を持って、手に取って読んでもらえる「いわた羅針盤」を編集していきます。また、市民からの幅広い意見を伺える場として「議会報告会」にも取り組んでまいります。議会と市民がより強い絆で「いわた」をつくれることを考えていきます。（永田隆幸）

次回は9月1日発行予定です。

【広報広聴委員会】

- 委員長：永田隆幸 ■副委員長：平田直巳
■委員：八木義弘、山下千賀子、江塚学、芥川栄人、高梨俊弘